

<http://fukuhen.lammfromm.jp/?p=8869>

「オランダのアート&デザイン新言語」。

オランダのデザインについては、もともと高い評価があった。

1990年代以降の反応なのだが、大量消費社会への違和感が高まる中、

オランダのデザインは意義を深め、存在感を高め、

世界的な流れを牽引するひとつの力になっていると言ってもよい。

コミュニケーションを重要なテーマにしているアーティストや

デザイナーの作品が紹介されている。



マルタイ・エンゲルブレクト「小さな東京モニュメント」